

フクビ防水部材「ウェザータイト屋根用 平棟角部材／出隅部材」施工要領書

このたびは、フクビ製品「ウェザータイト屋根用 平棟角部材／出隅部材」をお買い上げくださりまして有難うございました。
下記の施工要領書をよくご覧の上、正しく施工を行ってください。

■施工前に準備するもの

●ウェザータイト本体／両面防水テープ※同梱部材

■規格

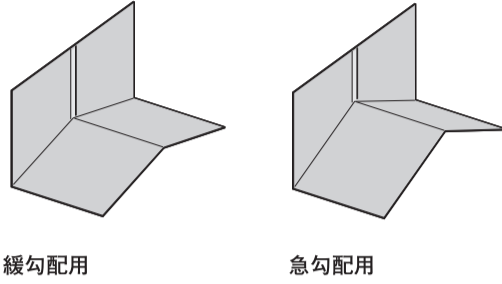
呼称	対応勾配	同梱部材
ウェザータイト 屋根用 平棟角部材	緩勾配用	2寸～3.5寸未満
	急勾配用	4寸～5.5寸未満
ウェザータイト 屋根用 出隅部材	緩勾配用	2寸～3.5寸未満
	急勾配用	4寸～5.5寸未満

両面防水テープ (75mm巾×250mm)

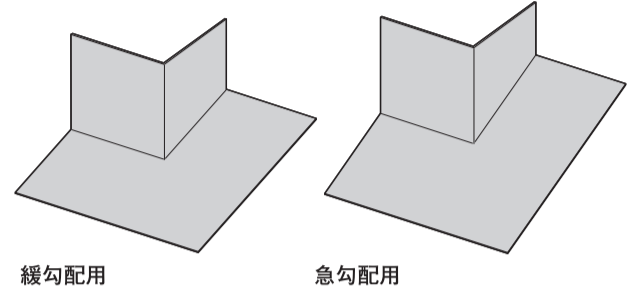
⚠注意 ●出隅部材を施工した後、平棟角部材の順で施工することになります。

■姿図

●ウェザータイト屋根用 平棟角部材



●ウェザータイト屋根用 出隅部材



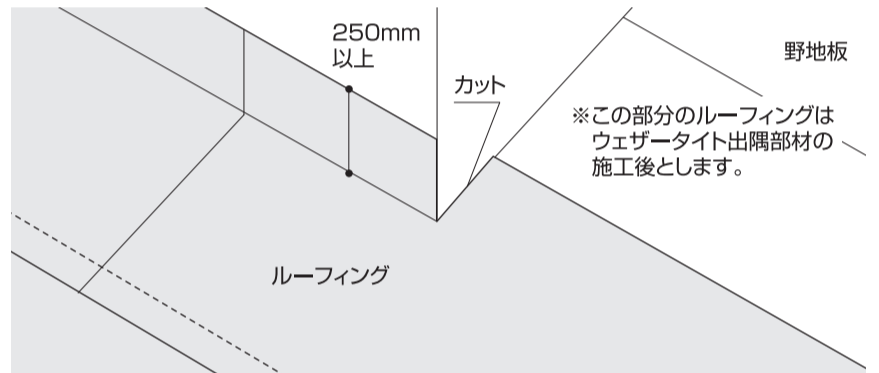
■ウェザータイト屋根用 出隅部材施工手順

●用途

屋根下葺き材の出隅部分などの「三面交点」は、欠損やピンホールが生じやすく、漏水を起こす危険が非常に高いため、ウェザータイトにて簡単・確実に防水補強を行います。

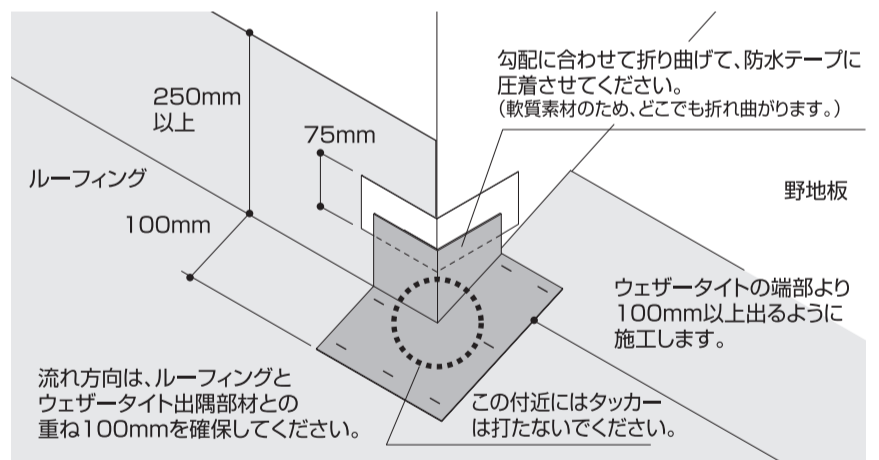
手順1. 出隅部のルーフィング施工

出隅部分にかかるルーフィングは、壁面側を250mm以上立ち上げるようにし、出隅のラインでルーフィングをカットしてください。



手順2. ウェザータイト屋根用出隅部材の施工

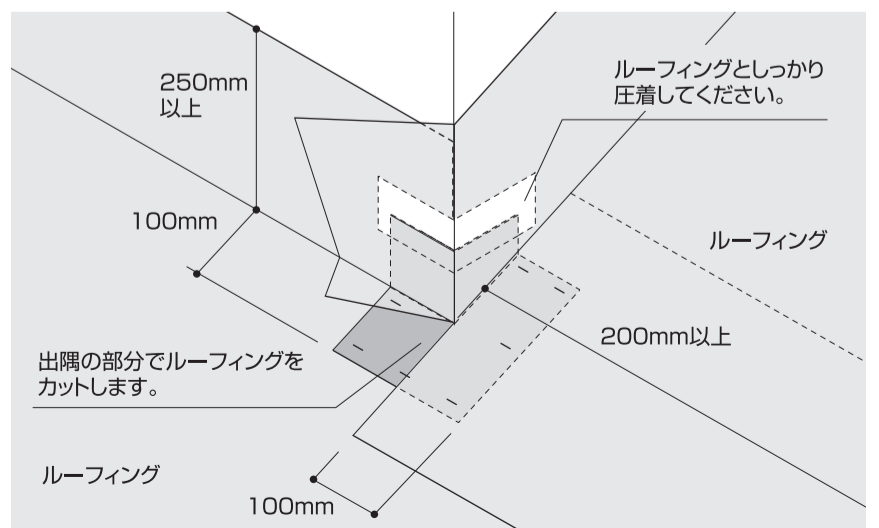
●両面防水テープ (同梱) で下図のようにしっかり圧着し、勾配を合わせた形で出隅部材をタッカー留めします。



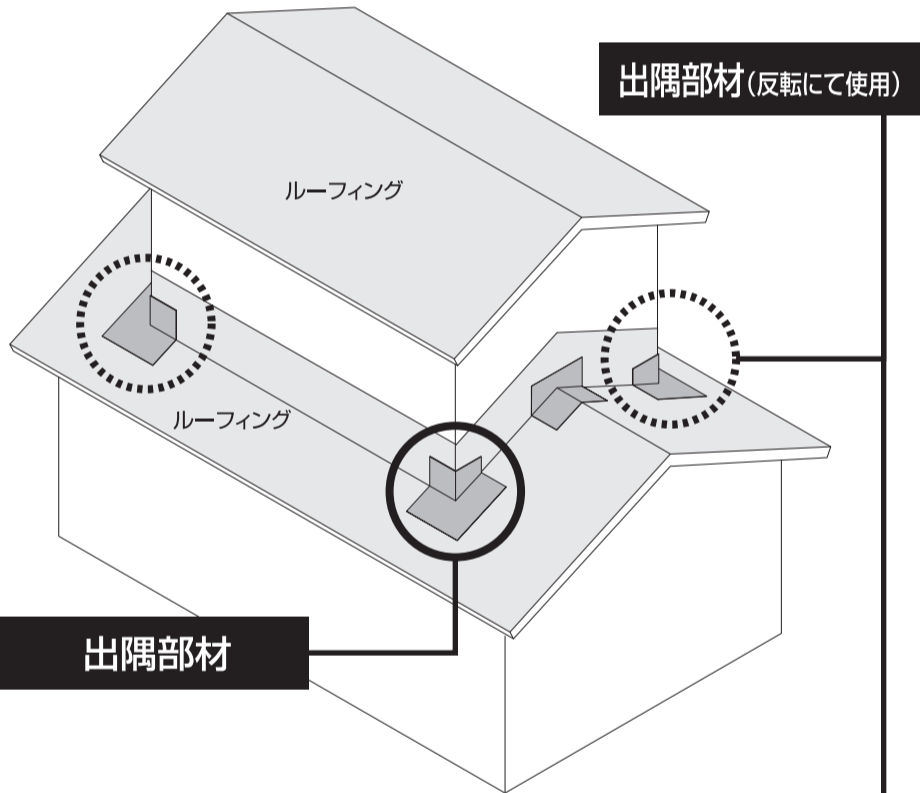
※ウェザータイト出隅部材が浮き上がらないよう、図のように端部7箇所をタッカーにて固定します。
※他の箇所にはタッカーを打たないでください。

手順3. ルーフィングの施工

●手順2で施工したウェザータイト出隅部材の上に、下図のように出隅の部分でカットしたルーフィングを両面防水テープにしっかり圧着してください。

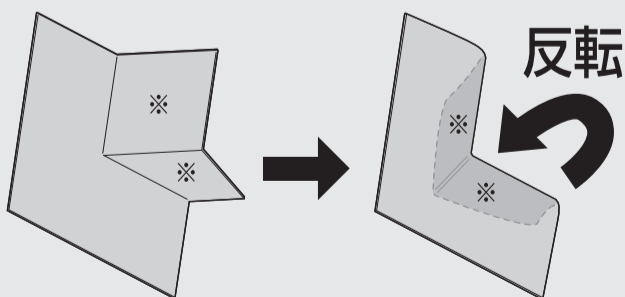


※反対側の出隅部分を施工する際は、ウェザータイトを反転させて施工してください。(左図参照)



●出隅部材の取扱いについて

勾配のついた方向性のある部材ですので、反対側の出隅部材は立ち上がり部分を手で反転させて使います。



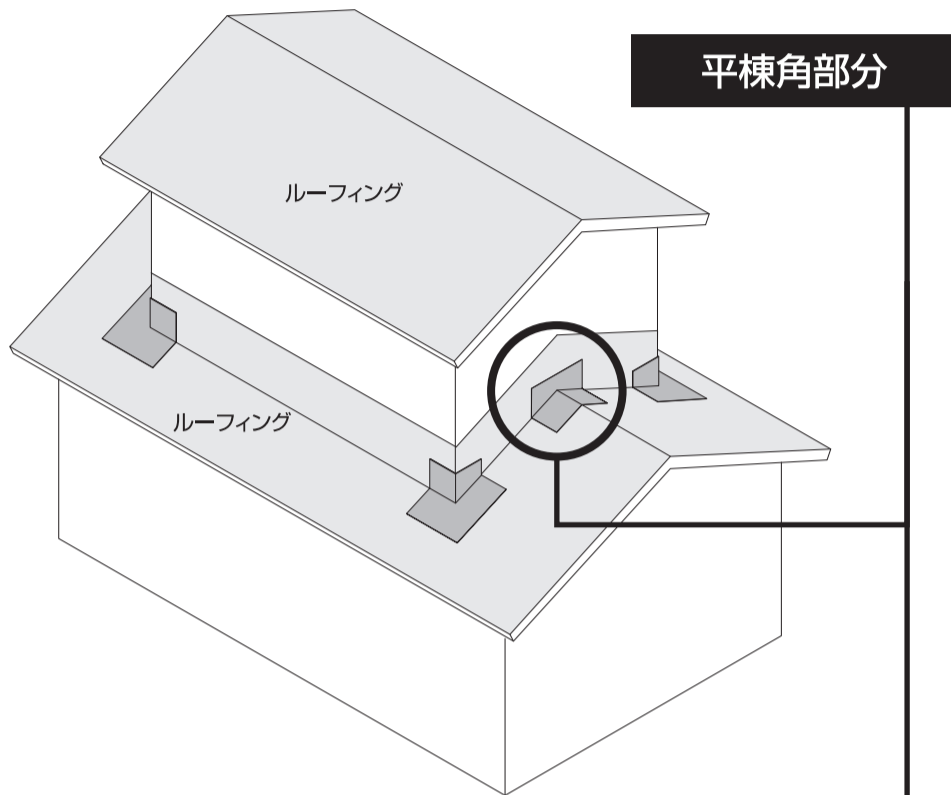
※印の立ち上がり部分を反転させ、折り癖をつけ形を整えてください。

⚠注意 ●必ず同梱の両面防水テープ(75mm×250mm)をご使用ください。

■ウェザータイト屋根用 平棟角部材施工手順

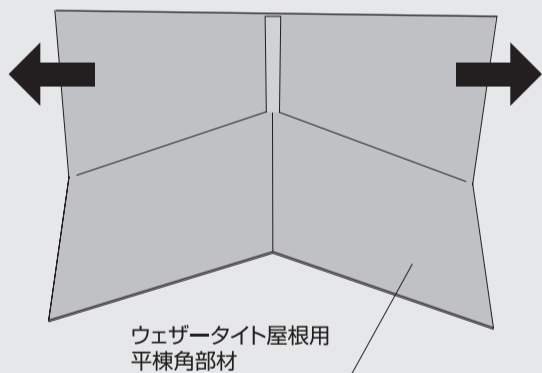
●用途

屋根下葺き材の出隅部分などの「三面交点」は、欠損やピンホールが生じやすく、漏水を起こす危険が非常に高いため、ウェザータイトにて簡単・確実に防水補強を行います。



●平棟角部材の取扱いについて

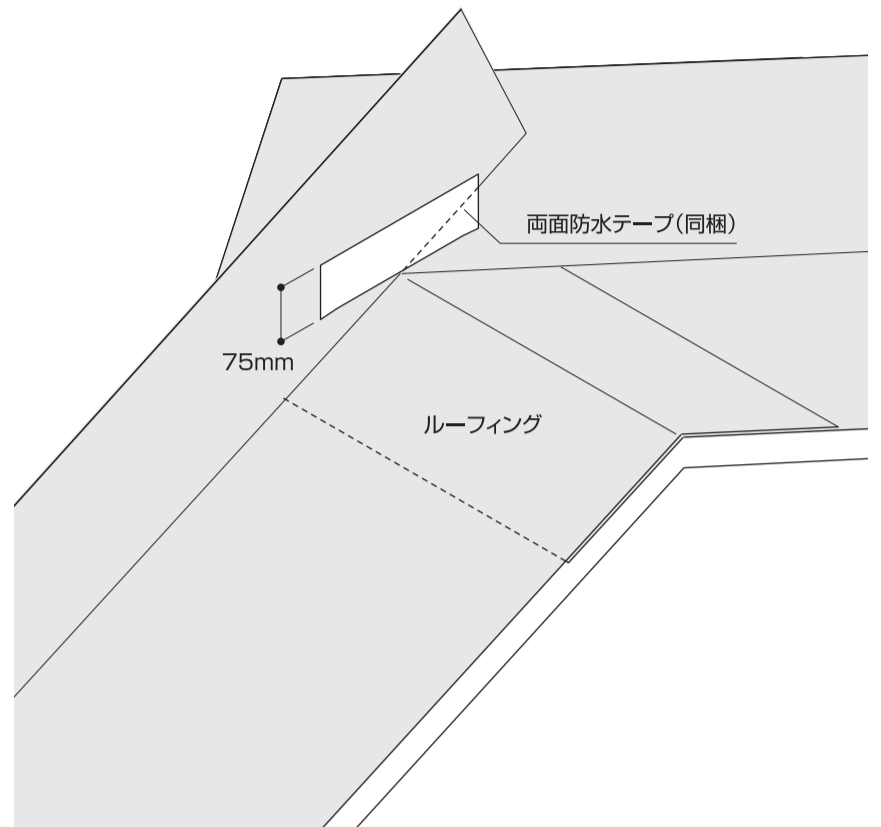
ウェザータイトに対して、屋根勾配の角度が大きい場合は、あらかじめウェザータイトを引き伸ばしておいてください。



⚠注意 ●必ず同梱の両面防水テープ(75mm×250mm)をご使用ください。

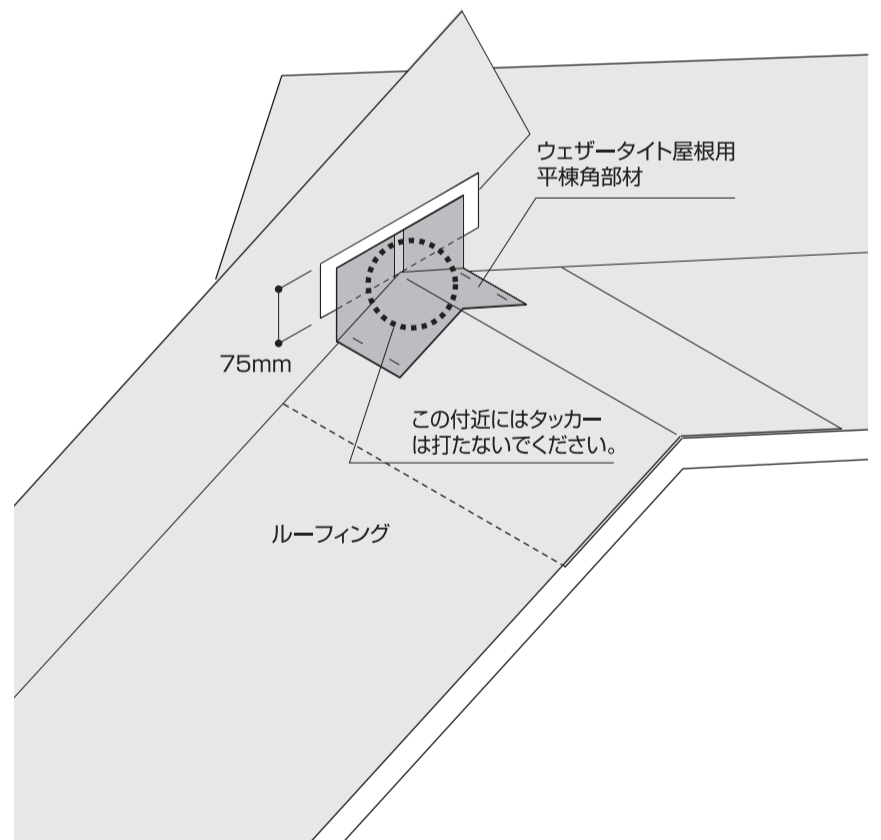
手順1.両面防水テープ(同梱)の施工

- ルーフィングは通常通り先に施工しておきます。
- 両面防水テープ(同梱)を棟の頂点部分に沿って、しっかり貼り付けます。



手順2.ウェザータイト平棟角部材の施工

- 緩勾配タイプ・急勾配タイプともに、中央薄肉部分を手で広げることで、屋根勾配に合わせた防水施工ができます。(左図参照)
- 屋根勾配に合わせてウェザータイトを引き伸ばし、両面防水テープ(同梱)にしっかり圧着し、下図のように平棟角部材をタッカー留めします。



※ウェザータイト平棟角部材が浮き上がらないよう、図のように端部4箇所をタッカーにて固定します。
※他の箇所にはタッカーを打たないでください。

●お問合せ

フクビ化学工業株式会社

本社/福井市三十八社町33の66 ☎(0776)38-8013 〒918-8585
 東京 ☎(03)5742-6301 大阪 ☎(06)6386-6950 名古屋 ☎(052)855-2332
 北海道 ☎(011)896-7500 盛岡 ☎(019)654-7511 仙台 ☎(022)287-3471
 東関東 ☎(029)841-7611 宇都宮 ☎(028)636-3521 北関東 ☎(048)661-0400
 千葉 ☎(043)247-3651 西東京 ☎(042)529-3911 神奈川 ☎(045)470-1050
 新潟 ☎(025)241-7832 北陸 ☎(0776)38-8010 静岡 ☎(054)288-3600
 京都 ☎(075)662-2315 岡山 ☎(086)232-0601 広島 ☎(082)246-7211
 高松 ☎(087)822-2301 福岡 ☎(092)471-5800 鹿児島 ☎(099)259-0220
 沖縄 ☎090-1943-2112

<http://www.fukuvi.co.jp>

ET034 2015.12 ①